Cinnamon 取扱説明書

Electric Sound Products
Custom Lab

特徴

ESP``Cinnamon''はピックアップの特色を損なうことなく、音に色付けするように設計されたベースプリアンプです。

本器の最大の特徴はトレブルコントロールで、ブーストではアクティヴ回路により必要な高域を持ち上げ、カットはパッシヴトーンコントロールによって、甘い音色を引き出すことが可能です。この２つの機能を、ひとつのツマミにまとめたことで、シンプルながら幅広い音作りが実現しました。

ベースコントロールはブーストとカットの周波数ポイントを分け、ミドルは輪郭をはっきりさせるポイントに絞り、操作性も重要視しています。また、全体のレベル調節も可能で、バッファーやブースターのように使うこともできます。

これらの機能により、ピックアップの特性を最大限引出しながら、Hi-Fiなモダントーンから温かいヴィンテージトーンまで、ストレスなく導き出せます。

本器はパッシブピックアップ、アクティブピックアップどちらにも対応します。

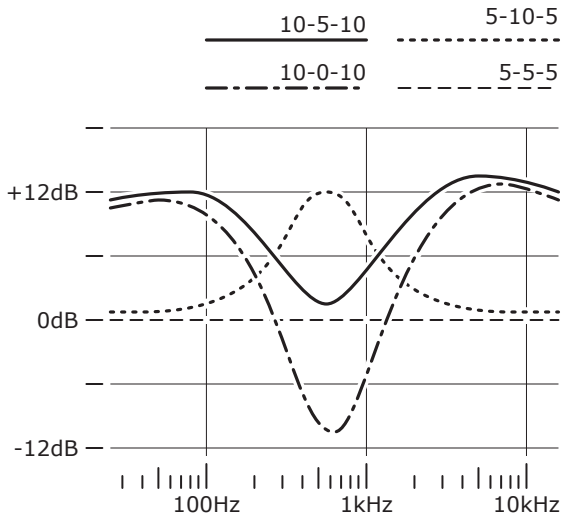
主な仕様

●入力インピーダンス：500kΩ

●負荷インピーダンス：10kΩ以上推奨

●消費電力：5.5mA（9V時）

●周波数特性グラフ
ポットのセンターを`5'とし、ベース,ミドル,トレブルのレベルを数字で表示しています。



パッケージ内容

シナモン本体

ポット 100kΩ-MN

ポット 50kΩ-B

ポット 50kΩ-MN

トリマーポット100kΩ（表示は104）

アウトプットジャック（ステレオ）

バッテリースナップ

取付けの注意

取付けは以下の点にご注意下さい。

●取付は裏面の配線図を参考に行って下さい。

●パーツへ熱を加え過ぎたり、リード線を強く引っ張ると、故障の原因になります。

●楽器本体の改造を要する場合もあります。その際の取付けはお求めになられた販売店もしくは、お近くのリペアショップにご相談下さい。

使用上の注意

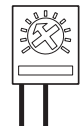
使用時は以下の点にご注意下さい。

●バッテリーは006P(9V)をご使用下さい。また、プラグを挿したままにすると電池は消耗しますので注意して下さい。

●プラグを挿してから音が出るまでに3秒くらいかかる場合がありますが、故障ではありません。

●トレブル,ミドル,ベースがそれぞれセンターの時、フラットな特性になります(グラフ参照)。すべてのレベルを上げ過ぎると、音が歪む場合があります。EQツマミはセンターポジションを基本に音づくりすることをお勧めします。

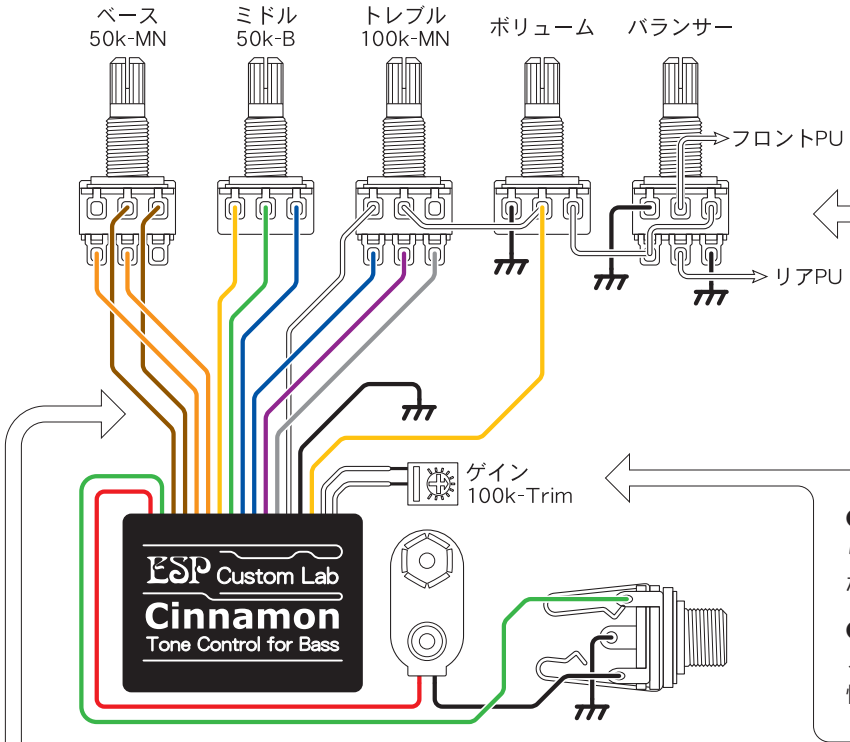
●ゲイントリマーの可変幅は-3dB(0.7倍)～+9dB(3倍)です。目盛りが右図の位置でおよそ0dB(1倍)になります。(PUの特性により若干の差があります)ゲインもまた上げ過ぎると、音が歪む原因になります。



●トリマーポットの調整にはサイズの合った、精密ドライバーを使用して下さい。また、トリマーの寿命は約100回転とデリケートなので、扱いにご注意下さい。

ESP®
発売元：株式会社イー・エス・ピー　〒171-0033東京都豊島区高田2-10-11　TEL 03-3982-1036
URL >>> http://www.espguitars.co.jp　E-mail >>> info@espguitars.co.jp

基本配線　3バンドEQ＋ボリューム＋バランサー



●ボリュームポット、バランサーポットは元に付いていたものをお使い頂くか、別途お求め下さい。

●ボリューム、バランサーの抵抗値は使用するピックアップのメーカー推奨のものをご使用下さい。目安の抵抗値は以下の通りです。

パッシヴPU . . . 250～500kΩ
アクティヴPU . . . 20～50kΩ

●ゲイントリマーの線(白の2本)はどちら側にしても同じです。ハンダ付けした箇所はテープ等で絶縁して下さい。

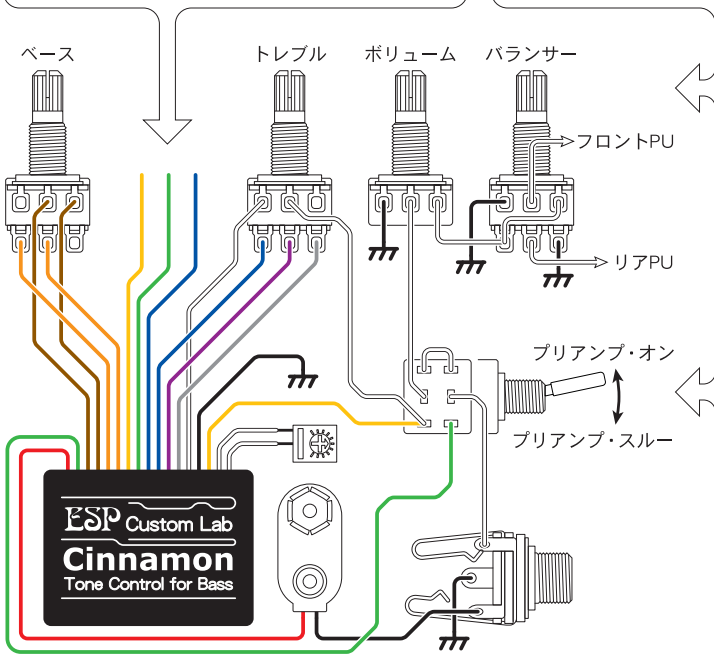
●トリマーは両面テープ等でキャビティ内に固定して下さい。壊れやすいので、慎重に行って下さい。

●ベースポット上段の線（茶の2本）はどちら側にしても同じです。
●ベースポット下段の線（橙の2本）はどちら側にしても同じです。

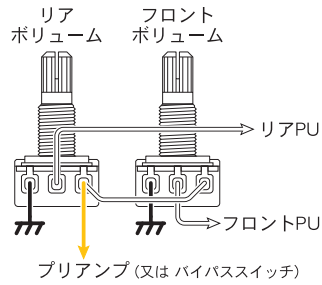
マークはすべてアース(グランド)に接続します。

配線のバリエーション　使い方に合わせて以下のようなアレンジが可能です

A ミドルをはずし、トレブルとベースのみを使用することも可能です。
3本の線を他の線に触れないように1本ずつ絶縁します。ポットは使用しません。



B 2ピックアップで個別にボリュームをつける場合の配線です。
左下図のボリューム、バランサーの部分を右図のように付け替えます。
ボリュームポットは元に付いていたものをお使い頂くか、別途お求め下さい。



C バイパスSWの取付け-1（左図）
スイッチを付けることで、プリアンプのバイパスが可能です。左図の配線ではEQ,ゲインがすべてキャンセルされます。スイッチは別途お求め下さい。

D バイパスSWの取付け-2（右下図）
本器は一部にパッシヴ回路を採用しているので、バイパス時でもトレブルカットのみ効果を得ることが可能です。いわゆるヴィンテージタイプのトーンと同じ働きをします。左図からの変更はスイッチ部の矢印の線を1カ所付け替えるだけです。スイッチは別途お求め下さい。